



# THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第 2770 地区 第 8 グループ 越谷北ロータリークラブ

2024-25 年度国際ロータリーテーマ 「ロータリーのマジック」 RI 会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック 2024-25 年度越谷北 RC 会長提言 「伝統を愛し、変化を楽しむ」 越谷北 RC 会長 江口 公晴

- 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
- 例会場 越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
- TEL 048 (975) 9898
- FAX 048 (977) 3741
- 創立 1976 年 5 月 11 日

- 会 長 江 口 公 晴
- 副 会 長 大 島 直 幸
- 幹 事 伊 藤 純
- 会報委員長 中 澤 伸 浩

## 第 2354 回 例会記録 No. 18

令和 6 年 12 月 11 日

司会: 新沼 徹 編集: 近藤 慎悟

## 会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「我らの生業」
3. クラブビジョン・戦略計画唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 3 分間ロータリー情報  
川島 徹 会員
7. 委員会報告
8. 年次総会  
司会 伊藤 純 幹事
9. 創立 50 周年準備委員会報告  
委員長 小林 光則 会員
10. 出席報告

## 【次回例会案内】

令和 6 年 12 月 25 日

ロータリアンの行動規範

イニシエーションスピーチ

卓話者: 藤田 学 会員

卓話者: 奈良部 達也 会員

## 会長挨拶



江口 公晴 会長

皆様こんにちは。

本日は年次総会となっております。それに合ったタイミングで現在のロゴに則った新しい会長章と幹事章が届きましたので、今日より使用させていただきます。



50 年の歴史が積み重なったこれまでの会長章と幹事章は、何かの形でずっと残していければと思います。皆で色々とアイディアを出していただきますようお願いいたします。



年次総会はクラブ細則第5条第1節に定められており、当クラブでは12月第2例会で開催されることになっております。そしてこの総会場で次年度の理事役員の選挙を行うことが規定されております。本日は次年度に向けての大事な例会でございますので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、先週12月7日土曜日、友好クラブである浪江ロータリークラブから次年度泉田ガバナーを輩出するというので国際協議会壮行会が行われました。当クラブからは小林光則ガバナーデジグネート、関エレクト、新沼副幹事、そして私が出席しました。第2530地区の多くのパストガバナーの方が愛情に満ちた激励をされていたのが印象的で、私たちも手厚い歓待を受け、大変和やかな席でした。

話は変わりますが、1ヶ月前の会長卓話にて10月29日にクラブ会長会議が行われたこと、そしてその席で第2770地区の法人化を進める決議がされたことをお伝えしましたが、ここにきてこの件について動きがありましたので皆様へ情報共有します。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、11月13日付で越谷東ロータリークラブさんより地区に対して異議申立書が提出されました。主旨としてはクラブ会長会議での採決の方法には問題があるため改めて採決をやり直すべき、ということです。この異議申立書は第8グループの会長幹事にも共有されております。東クラブの北林会長のご了承をいただいておりますので、ご希望の方は私までお申し出くだされば共有いたします。

当日は私も出席しておりましたので状況をお話しますが、まずその前提として9月下旬にクラブ会長会議開催の案内が届きました。そこには地区法人化についての説明、となっておりました。その2週間後には定款案と法人化による効果の説明が送られてきました。

この時点で私を含めて多くのクラブ会長は、この会議は法人化の内容説明が行われる場だと思っておりました。ところがその会議で、一通り説明する中で地区側が法人化の賛否について決議すると進めてきました。クラブ会長側からは「クラブからこの件について決議表明する権

限を得ていない」等の意見が出されましたが、最終的には法人化に反対するクラブは挙手するよう求められ、反対少数で可決されました。私自身はクラブを代表して法人化に賛成する意見集約も、逆に反対する意見集約もしていませんでしたので、決議を留保しました。これに対して東クラブさんが異議申立書を提出したのですが、先週行われました会長幹事会にて、今後は第8グループが連携してこの件に取り組んでいくことが確認されました。東クラブさんの申立書にも記載されていますが、第8グループの総意としては、法人化そのものには反対しているわけではないが、今回の決議をするまでのプロセスが問題であり改めてやり直すべき、という立場です。今後、地区とのやり取りは5クラブ連名で行っていくことが確認されました。ですのでこの地区法人化についてご意見や思うところがございましたら、私までお申し出ください。私から第8グループに共有します。

当クラブからは2019-2020年度に小林操ガバナーを輩出しており、2027-2028年度には小林光則ガバナーを輩出します。くれぐれも個人的に直接地区へ意見を述べる等のアクションはお控えくださいますようお願いいたします。そして、最新の情報として、会長幹事会後に地区から東クラブさん宛てに返信があったとのこと。手続きに問題ない、という趣旨の内容だったそうです。

改めまして、本日はクラブにとって重要な年次総会です。

本日もよろしくお願いいたします。

### 幹事報告



伊藤 純 幹事



(地区より)

- ・越谷南クラブさん東クラブさんより 12 月、1 月のプログラムが届いております。掲示しておりますのでご確認ください。
- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金さんより 2023 年度の事業報告と基金への寄付のお願いのご案内が届いております。詳しくお知りになりたい方がいらっしゃいましたら幹事伊藤までお問い合わせください。

(クラブより)

- ・理事役員の皆様へご案内です。今井会員からご紹介の杉本充宏様より入会申込書を頂きました。理事役員の皆様へ持ち回り維持役員会としてご案内をお送りしますので賛否につきましてお送りいただきますのでよろしくお願いたします。ご質問ある方は、幹事伊藤まで申しつけください。

### 3 分間ロータリー情報



川島 徹 会員

12 月は『疾病予防と治療月間』です。今回は「地域医療を守り、育てる(※ロータリーの友 12 月号より)」という記事をご紹介します。記事を書かれたのは、下呂 RC の耳鼻咽喉科医の大塚正義先生です。

大塚先生が 41 年前に大塚耳鼻咽喉科医院を開業された岐阜県は、医師不足に悩んでいるというお話から始まります。2004 年から新しく始まった制度によって、研修医が自由に研修先を選べるようになり、地域の基幹病院の医師が激減してしまったそうです。地域医療が成立しなくなるのではないかと危機感を覚えた大塚先生は、地域医療の現状を知ってもらい、市民との協力体制を構

築する必要があると考えました。「医療は誰かが何とかしてくれる」という意識を取り除き、自分達で健康について考えるようにする事。そこで「減塩の取り組み」について広める活動を始めました。また、この取り組みをより広めるために、地域社会のリーダーや有力者が集まるロータリークラブに入会されたそうです。ここでロータリアンには、地域社会における重要な役割があります。「地域住民全体の連携・推進」「市民代表であり経済界代表」であること、「地域全体を盛り上げる旗振り役」「リーダーシップだけでなく、時には縁の下の力持ち」になること。

記事は「疾病予防と治療の実現のため、環境が整った地域社会にするために、何よりもロータリアン自らが働いて汗をかいて取り組むことが肝要と考えます。」と絞められています。

ロータリアンの在り方を考える記事であると共に、データとして部分別がんの罹患率について県別の上位下位の情報もありますので、よろしかったらご一読ください。

### 委員会報告

#### プログラム委員会 須賀 篤史 委員長

2025 年 1 月の第 1 例会は、プログラム委員会主催の新年例会を企画しています。1 月 8 日(水)割烹若松さんにて、11 時 30 分より例会開始となります。点鐘の後に、外部卓話としまして来年創業 60 周年となる若松さんの清水会長に「若松の歴史」をお話して頂きます。その後に新年会を行いたいと思います。14 時頃終了になるかと思しますので、多くのご参加をお待ちしております。本日立案内流しますのでよろしくお願いいたします。

#### R 財団委員会 松井 昭夫 委員長

2026-2027 年度ロータリー財団奨学生募集という要項が皆様のボックスに入っていますので、簡単にご説明します。

資格条件①埼玉県南東部に本籍、居住地、通学先、又は勤務先の何れかがあること。②留学時に大学課程を 2 ヶ年修了しているか、高校卒業後 2 年間以上その専門の職業に従事していること。③留学に必要な言語



能力を有している事。奨学金の種類は給付型の奨学金で、返済の必要がありません。支給額としては、(A)海外の大学または大学院で1年間学ぶための奨学金2万ドル。(B)平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境の保全の分野で海外の大学院で学ぶための奨学金3万6千ドルです。受付は、令和7年2月26日(水)から令和7年5月9日(金)までです。

もし皆様の身近な人で申請しても良いという人がいましたら、是非ご連絡頂ければと思います。

### 年次総会



伊藤 純 幹事

年次総会開催にあたり出席率(定足数の確認)を発表しました。会員数47名、例会場出席34名となっております。当クラブ細則第5条第3節の定める会員数の三分之一を上回っているため年次総会は有効となることをご報告いたします。



大濱 裕広 指名委員長

「指名委員会での審議に至る経過報告」

10月9日において、次々年度の会長候補者を含む次年度理事役員の指名について、会員の皆様から全会一致にて会長に一任とのご意見を賜り、江口会長より、これを指名委員会の審議に委ねる旨の決定がなされ、直前会長である私が指名委員会設置準則に則り、指名委員会の招集・開催準備に任ずることになりました。

そして11月6日、ホテルサンオーク美都炉にて指名委員会を開催いたしました。慣例に従い、直前会長である私が指名委員長を務めさせていただきました。

在籍パスト会長18名中16名のご出席を賜り、また議事の審議について差し支えない範囲で、江口会長、伊藤幹事、関会長エレクト、新沼副幹事にもオブザーバーという立場でご出席をして頂きました。

議事について、まず1つには、関次年度理事役員の指名ですが、関会長エレクト提案の理事役員案のとおり全会一致で承認されました。そして、次々年度会長候補者指名の件、こちらは数名の候補者の中から慎重審議の結果、全会一致にて市川洋和会員が次々年度会長候補者として推薦されました。直ちに本人に意思確認をしたところ、承諾いただきました。

よって、この結果を踏まえ本総会の議事として、次年度理事役員および次々年度会長について会員の皆様にお諮りするものです。

どうぞよろしくお願ひいたします。



本年も例会場に参加されている会員で実施します。例年と同様に、オンライン参加の方は匿名性の観点から辞退ということで進みました。



## 2025-26 年度 理事・役員

令和 6 年 12 月 11 日の年次総会において、2025-26 年度の理事・役員が以下の通り承認されました。

	役職	氏名
役員	会長	関 雄二郎
役員	副会長	須賀 篤史
役員	会長エレクト	市川 洋和
役員	幹事	新沼 徹
役員	会計	松井 昭夫
役員	会場監督(SAA)	鈴木 英男
役員	直前会長	江口 公晴
理事		市川 洋和
理事		今井 英治
理事		小林 巧
理事		小野寺 瑛子
理事		大島 直幸
理事		太田 靖彦
理事		櫻井 保彦
理事		関森 初義
理事		佐藤 要
理事		平 涼子
理事		高橋 忠克
理事		渡辺 裕介

SAA 立会の下、厳正な開票・集計を行いました。



江口 公晴 会長

この度ご承認になりました皆様、誠におめでとうございます。候補の方のお名前を見まして、本当に老壮青、若手からベテランまでバランスよく構成されたメンバーだと

いうことを最初に講評で述べさせて頂きたいところがございます。本当に良い人選だと思います。

次年度は 50 周年ということで、先ほどもご説明もありましたけれども、それだけではなく当クラブからガバナー補佐を輩出する年度にもなっております。次年度は本当に忙しい 1 年になると予想されます。ですから、皆様一丸となってこのクラブを盛り上げて行く、まさしくそれにふさわしい理事役員のメンバーになったと思います。以上で、私の講評とさせていただきます。



関 雄二郎 会長エレクト

皆様、こんにちは。次年度会長に任命されました関でございます。改めて、よろしくお願いたします。また、本日年次総会において、書類の不手際大変申し訳ございませんでした。

賛成多数という事で、次年度理事役員のご承認いただき、次年度はこのメンバーで来年 7 月からスタートさせていただきます。会員、事務局、皆様のご協力がなければまともまっていけませんので、是非ご協力の程よろしくお願い致します。また、次年度の理事役員選出において、ご協力頂きました方々には感謝の意を述べさせていただきます。ありがとうございました。

理事役員を発表させて頂きたいと思います。会長エレクトに市川会員、副会長に須賀会員、幹事に新沼会員、会計に松井会員、SAA に鈴木会員、直前会長に江口会員、会員組織部門に関森会員、公共イメージ部門に太田会員、社会奉仕に今井会員、青少年奉仕に小林巧会員、親睦活動に小野寺会員、クラブ活性化に大島会員、プログラムに櫻井会員、職業奉仕に佐藤会員、出席

会場に平会員、会員増強に高橋忠克会員、国際奉仕に渡辺会員というメンバーになります。

次年度の方針につきましては、地区の協議会を通じてガバナーの方針に従い会長方針をお伝えしますが、当クラブは次年度に創立 50 周年の節目の年となります。今年度は会員増強に力を入れて頂き、多くの新しいメンバーと奉仕活動を行えるようになりました。ロータリークラブは様々な職業人の集まりです。会員の皆さまは、色々な困難を経験され乗り越えて、志高く今の地位を築き上げられてきたエリート集団でございます。

およそ 50 年前に始まった越谷北ロータリークラブですが、様々な職種の会員の皆様がこの土壌に毎年良い種を撒き、脈々と越谷北ロータリークラブの価値観と伝統を受け継いでこられました。そして時代にあった価値観に融合して次年度創立 50 周年を迎えることとなります。

老壮青のバランスの取れたこの組織です。奉仕の花と会員同士の親睦団結の花が咲き乱れることをお祈りしまして会長エレクトの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



市川 洋和 会長ノミニ

本日の総会で会長ノミニとして、選んで頂き、誠にありがとうございます。

大濱年度では皆様のご協力もあり、無事幹事の仕事も務める事が出来ました。その時に感じたのが、会員ひとりひとりのご協力があってクラブ運営は成り立っていることをとても感じました。今一度お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次年度で 50 年という節目を迎えます。そして私が会長を務めるのが 51 年度と言う事でこの伝統ある越谷北ロータリークラブを次の会長に繋いでいける様に、しっかりと勉強していきたいと思っております。

まだまだ、未熟な私ですが、会員の皆様のご指導、ご鞭撻、そしてご協力をお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

### 創立 50 周年準備委員会報告



創立 50 周年準備委員会 小林 光則 委員長  
創立 50 周年準備委員会の報告が行われました。

### ◆創立 50 周年準備委員会 報告

(越谷北 RC 1976 年 5 月 11 日創立)

#### 委員会構成

委員長 小林光則 副委員長 須賀篤史  
委員 大熊正行 大島直幸 大濱裕広 小宮山大介  
中澤伸浩 長谷川真也 松井昭夫 松崎義一  
吉澤晴雄  
以上 2014~15 年度以降のバスト会長

#### ① 記念式典

日時：2026 年 4 月 25 日(土)予定

会場：未定(都内ホテル)

内容：記念事業の発表及び贈呈 記念講演 懇親会

※本来は 2026 年 5 月 9 日予定でしたが、越谷 RC の創立 65 周年と重なり変更いたしました。



② 記念事業

- 1. 地区米山記念奨学会及びロータリー財団に寄付 (寄付額は未定)
- 2. グローバル補助金を使った事業 その他
- 3. 記念植樹、記念石碑など時計塔設置に準じた事業
- 4. 記念ゴルフ 未定

③ 友好クラブ

友好クラブの提携会員の意見を聞き国内、海外のクラブと連絡を取り、新たな友好関係を築く

④ 実行予算

会員一人あたり9万円×50名、450万円をベースに考える。ただし、懇親会費は個人負担とする。

・本日、年次総会よろしくお願ひします。

市川 洋和

・本日年次総会よろしくお願ひします。

須賀 篤史

・年次総会宜しくお願ひ致します。

小林 光則

・本日の年次総会よろしくお願ひします。

大濱 裕広

・誕生プレゼントありがとうございました。

宮崎 敏博

・世界平和の為に。

高橋 忠克

・世界平和のために。

深野 秀樹

・インフルエンザ流行しています。気を付けましょう!!

太田 靖彦

# スマイル報告

・本日は年次総会です。皆様よろしくお願ひいたします。

江口 公晴

・本日も宜しくお願ひ致します。

伊藤 純

・本日、年次総会。宜しくお願ひします。

関 雄二郎

・本日宜しくお願ひします。

松井 昭夫

・本日も宜しくお願ひします。

大熊 正行

・本日もよろしくお願ひ致します。

藤田 学

・本日も宜しくお願ひします。

渡辺 裕介

・本日も宜しくお願ひ致します。

奈良部 達也

・本日は年次総会よろしくお願ひします。

加地 昭俊

## 出席報告

会員数	47名
出席者	39名
出席率	86.6%



年次総会では、大島副会長も目を光らせていました。